（表中敬称略）

会議名	人材育成・活用システム設計部会（令和３年度第２回）		
日　時	日時：令和４年３月１日（火）10:30～12:00		
場　所	場所：オンライン（Zoom ミーティング）		
出席者（13 名）			
カテゴリ	所属（学校等・部門・部署）	役職	氏名
産	近畿建設協会	理事・技師長	◎黒谷　努
産	一般社団法人建設コンサルタンツ協会近畿支部	参与（建コン協近畿）	田底　成智
官	京都府北部社会基盤メンテナンス推進協議会	副会長（京都府中丹広域振興局建設部長）	西村 祥一
学（連携校）	長岡工業高等専門学校	教授	井林　康
学（連携校）	福井工業高等専門学校	教授	辻野　和彦
学（代表校）	舞鶴工業高等専門学校	教授・社会基盤メンテナンス教育センター長	○玉田　和也
学（代表校）	舞鶴工業高等専門学校	准教授・社会基盤メンテナンス教育センター副センター長	毛利　聡
学（連携校）	香川高等専門学校	准教授・社会基盤メンテナンス教育センターセンター長	林　和彦
学（協力機関）	独立行政法人国立高等専門学校機構	研究総括参事	佐藤　貴哉
事務局	福島工業高等専門学校	特命助教	浅野　寛元
事務局	長岡工業高等専門学校	助教	白井　一義
事務局	舞鶴工業高等専門学校	特命准教授	嶋田　知子
事務局	舞鶴工業高等専門学校	事務補佐	掛　園恵
◎：部会長　○：副部会長			

議事次第

１．はじめに　　舞鶴工業高等専門学校 建設システム工学科 教授　玉田 和也

２．部会長挨拶　　一般社団法人近畿建設協会　理事　黒谷 努 様

３．リカレント教育事業の継続性確保に向けて（審議）

・リカレント教育事業の継続性確保に向けて　…… 資料1

４．まとめ

５．その他（今後の予定，事務連絡等）

以上

写真 6.5.5　舞鶴高専　玉田先生挨拶

写真 6.5.6　黒谷部会長挨拶

写真 6.5.7　オンライン参加者

人材育成・活用システム設計部会（令和３年度第２回）

議　事　録

日時：令和４年３月１日（火）10:30～12:00
場所：オンライン（Zoom ミーティング）

１．はじめに　　舞鶴工業高等専門学校 建設システム工学科 教授　玉田 和也

２．部会長挨拶　　一般社団法人近畿建設協会　理事　黒谷 努 様

３．リカレント教育事業の継続性確保に向けて（審議）

・リカレント教育事業の継続性確保に向けて　……　資料１

- ✓ 非土木出身者に対する教育として，高専のリカレント教育は実践的であり，そこを対象として新組織の活動領域を広げていけるのでは。
- ✓ 新組織の形態について，地方公共団体の契約先としては株式会社より公益財団法人，さらには高専機構であるほうが社会的信用の点で説明しやすい。
- ✓ 高専機構として１事業を対象とした法人を作るのは困難であるが，１高専が財団法人を作った例もあり，５高専共同で作ることに対しては相談して進めていけるとの認識。
- ✓ 土木外からの転向者への教育はブルーオーシャン（未開拓の分野）であり，中学卒業生への教育実績を持つ高専の大きな特色となりうる，そこに力を入れるべき。
- ✓ 大阪大学の災害科学研究所を例として，将来的に高専機構全体で土木に限らず寄付の受け皿となって研究者を支援する組織としたい。
- ✓ 高専機構で来年度クラウドファンディングの支援を行う用意があること，高専 EXPO への参加，防災科研との連携の提案。
- ✓ インフラテクコンの協賛企業は高専とインフラに興味があり，提携先として相性がいい。
- ✓ 海外向けの技術者教育へのｅラーニング活用，メンテナンスの失敗事例の共有などの事業案。

４．まとめ

- ✓ 黒谷部会長より取りまとめを行い，議論の内容を合同会議で報告する。

５．その他（今後の予定，事務連絡等）

以上